

1 教 育 目 標

(1) 本校の教育目標

いのちを大切に、豊かな心をもつ、たくましく生きる生徒の育成をめざす。

○ めざす生徒像

- ア 自ら考え、判断する力をもち、夢の実現に向けて成長する生徒
- イ 誰に対しても、温かく接し、勇気と思いやりの心をもって生活する生徒
- ウ いのちを尊び、確かな学力とたくましく粘り強い意志をもつ生徒
- エ 学級・学校に愛情と誇りをもち、地域社会の一員として社会に貢献しようとする生徒

○ キーワード 「Love&Beauty」

(2) 経営方針

- 教育目標のキーワードである 「Love&Beauty」 があふれる学校の達成に向けて
- ア 生徒自らが目標をもって学習に取り組み、協働で様々な課題を解決する姿勢を身につけ、生涯学習の基礎を培う。
- イ 生徒会活動、群団（異学年交流）活動などの行事を通して、相互のよさや集団としての好ましい関わりなどの社会性を培い、正しく判断して、責任ある行動ができる能力の育成に努める。
- ウ 道徳教育やピア・サポート活動の推進により、他者への思いやりや人権意識、生命尊重の精神を高め、よりよく生きる意欲を育み、いじめ・不登校生徒をつくらない学校をめざす。
- エ 基本的生活習慣の定着を図るとともに、心身ともに健康で命を大切にする生徒の育成に努め、安心して過ごせる学級・学校づくりを通して、自分にもできる気持ち（自己効力感）を育む。
- オ 家庭・地域と協力し、学校運営協議会・PTA・楠の会と連携して、開かれた学校運営を進める。
- カ 郷土の文化と伝統を学び、尊重する態度を育て、地域社会の一員として進んで貢献できる生徒の育成をめざす。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 豊かな心の育成
 - ・「考え・議論する」道徳とピア・サポートプログラムを通してコミュニケーション力を高め、考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりするなかで、他者への思いやりの心や人権意識、生命尊重の精神を高めることで、「自己肯定感」とウェルビーイングの向上をめざす。
 - ・生徒会活動・群団（異学年交流）活動・委員会活動・学級活動等を通して、他に貢献することを通して「自己有用感」を向上させ、思いやりにあふれ、積極的に他者と関わろうとする生徒の育成をめざす。
- イ 確かな学力の育成
 - ・現職教育の主題に沿って、言語活動を充実させた協働的な授業づくりをすすめることで、「主体的・対話的」で協同的な学びを軸に「深い学び」の実現をめざす。
 - ・ICTの効果的な活用を通して、個別最適な学びの充実を図るとともに、デジタルの力でリアルな学びを支え、基礎・基本の定着をデジタル学習とのバランス感覚をもって推進する。
- ウ 健やかなからだの育成
 - ・異学年との活動を通して自らの責任を果たし、達成感を味わうことで、多様性を認め尊重する心や他を思いやる気持ちを育むとともに、自ら身体を鍛える意欲を向上させる。
 - ・安全意識を高め、実際に行動できる力を身につけさせることで、自他の命を守る力を伸ばす。
 - ・日常の衛生管理や施設整備の安全管理を徹底し、非常時の登下校時の対応など、防災教育の充実と体制の整備に努める。
- エ 未来に生きる力の育成
 - ・情報社会の進展に主体的に対応できる力（Society4.0）を育成するとともに、情報モラル教育の充実と「Society5.0時代を生きる生徒」の学び方の基礎を培う。
 - ・日本や諸外国の文化・伝統に対する関心と理解を深める活動を進める。
 - ・職業を見つめ、職業人から学ぶ機会や、上級学校を知り、体験する機会の充実を図り、3年間を見通したキャリア教育を推進し、夢・目標の実現に向けた生きる力を身につける。
- オ 信頼される学校づくり
 - ・現職教育に力を入れ、相互に学び合う「協同的な学び」を推進し、意欲に満ちた教師集団を育てることをめざした研修の充実を図り、総合的な指導力・教師力の向上を図る。
 - ・Webページや各種たより、保護者メール（tetoru）を利用して、積極的に情報を発信する。
 - ・学校運営協議会、PTA役員会・楠の会等と連携して、保護者・地域とともに学校を運営する体制を軸とした、地域との協働に努める。
 - ・地域での自主的なボランティア活動への参加を通して、地域とのつながりを深める。
- カ 働き方改革にかかる業務改善に向けて
 - ・教職員の心身ともに健康で質の高い教育活動の実現をめざして、専門委員会との連携を図り働き方の改革をすすめ、皆のウェルビーイングにつなげる。
 - ・働き方改革も含めた「学校DX」を推進することで、より効果的な教育活動への変革を図る。